

未来を生き抜く力と健やかな「からだ」の育成

チーム武庫

2月号

三田市立武庫小学校長 松田文貴

《多様な学びを》

子どもたちは日々いろいろな場面で多様な学びをしています。教室では教科書やタブレットを使いながら、武庫小学校の先生たちと学習を進めています。そこでは実験をしたり、話し合いをしたり、自分の考えを書き込んだりと、多くの活動をしています。しかしながら、学びの場はそこだけではありません。



【パラリンピックについて】



【昔遊びを一緒にしました】

学年の学習に応じて、ゲストティーチャーを招いて、より詳しいお話を伺うことがあります。スマホの使い方の学習、パラリンピックや盲導犬等の学習、武庫が丘の地域学習など、それぞれの内容に応じて講師の方に来ていただき、教科学習だけでは経験できない学びに触れています。このような学習では、ゲストの話をしっかり聞き、今まで知らなかったことや、考えもしなかったことに出あっていきます。

また、活動に際してボランティアの方にもお世話になっています。これまでも紹介したように、校外学習をはじめ、音楽や図工、家庭科などの実技を伴う教科において技術が身につくように、安全が守れるように力を貸していただいています。そこでは、単なる授業のお手伝いではなく、多くのことを教えていただけます。

それ以外にも避難訓練やクラブ活動など、体験を通しての学びがあります。運動会や音楽会、自然学校や修学旅行などの行事もそうです。様々な体験の中でうまくいったこと、失敗したことを積み重ねながら子どもたちは成長していきます。

これらのように、子どもたちは教室での座学だけではなく、多様な場面で多様な学びを積み重ねています。そこには、人と人とのつながりがあり、その時その時にしか味わえない学びがあります。これからも、つながりを大切にしながら、様々な学びの場を用意したいと思います。

《住民学習会から》

1月28日（土）に三田市人権を考える会武庫小校区地域部会の主催による「住民学習会」が本校体育館で開催されました。コロナ禍であることもあり、無理にお声掛けすることはしませんでした。当日、保護者の方、児童生徒、地域住民の方が参加くださいました。

地域部長や来賓の方のあいさつの後、人権ポスターや標語において、特選に選ばれた児童生徒の皆さんの表彰がありました。（12月号で審査結果をお知らせしています。）



そのあと、歌手の「ちめいど」さんの人権コンサートがありました。素敵な歌とトークの中に、人とのつながりについて考えることができる部分がたくさん入っていた素晴らしいステージでした。「同じものを見ても、こころのフィルターを通すとまったく違って見える」「何かあったのかな？と相手のことを考える気持ちを大切にしている」「人権と考えると難しく思ってしまうが、優しさは全ての人権課題解決につながる」と心に残るお話もたくさんありました。武庫が丘の地域がもっとつながれるよう願っておられるとのお話も心に残りました。学校、家庭、地域がさらにつながっていきたくと思ったひと時でした。

《季節とともに》

1月20日（金）は1年で最も寒い時期と言われる二十四節気の大寒でした。それに合わせるように10年に1度と言われる大寒波が到来し、武庫が丘でも雪が積もりました。大寒らしく、気温が低く寒いが続いています。そのような中でも子どもたちは元気に遊んでいます。運動場で雪遊びをしたり、プールに張った氷を見て「スケートできるかな」と覗きに行ったり、外で元気に遊ぶ姿が見られました。2月4日（土）は立春です。いよいよ春の足音が聞こえてきます。武庫小学校の玄関には蟠梅（ろうばい）の花が活けてあります。もうしばらくすると白梅、紅梅も目に留まる季節が来ます。「冬来たりなば、春遠からじ」です。

立春の前日、2月3日（金）は冬と春の季節を分ける「節分」です。「鬼は外！ 福は内！」節分には恵方巻を食べ、豆まきをするのが風習になっています。それぞれのお家から元気な声が聞こえてきそうです。玄関にヒイラギの枝にイワシの頭を付けたものを飾り、福豆をまいて、そのあと、年の数（数え年の数なので満年齢より一つ多め）だけ豆を食べて1年の幸せを祈る行事です。ヒイラギにイワシの頭は鬼が嫌うので鬼を遠ざけるという説や、反対に、においを好む鬼を呼び寄せて、ヒイラギの葉でひるんだところを豆で退治するという説など、いろいろあるようです。豆は「魔滅（まめつ）」の意味があると言い、それをまくことにより、幸せを祈るそうです。

三田では昔のお殿様が「九鬼家」だったこともあり、「鬼も内、福も内」といって豆をまくそうです。「鬼は内、福は外」といってまく地域もあると新聞で読みました。悪いことは自分で引き受けて、幸せが他の人に行けばいいという考えからだそうです。また、どこへ行っても追い払われる鬼がかわいそうで、「外にある福を持ってわが家においで」という考えからだそうです。なんか、素敵なお心づかいで、心が温かくなりますね。

私たちは日々、いろいろな伝統や風習の中で生活をしています。それぞれの意味を知ることにより、人々の思いに触れ、生活が豊かになります。季節とともに生活をし、いい風習はぜひ受け継いでいきたいものです。



【大人も子どももいっしょに！】



【先生にえ〜い！】



《教育は共育》

2月に入り、今年度も残すところあと2か月となり、1年のまとめの時期がやってきました。4月のスタート以降、児童と教職員が一緒になって新しい学年、新しいクラス、新しい教室で多くの学習や活動を積み重ねてきました。この1年近く、子どもたちは学習や日常生活、学校行事等さまざまな場面で、うまくいったことや楽しかったこと、また、うまくいかなかったことや楽しくなかったこと、いろいろな出来事があったことと思います。そのなかで着実に成長してくれている様子がうかがえます。運動会や音楽会の感想、また、保護者アンケートや懇談、日々の相談などいろいろなところでお声を寄せていただいています。それぞれのご家庭において、お子様から学校の様子を聞いていただき、応援していただくとともに、学校と一緒に子育てをしてくださっていることに感謝いたします。

2月17日（金）には最後の授業参観も予定しております。お子様の学びの様子をご覧いただき、お気づきのことがありましたら、また、まだ十分に学校に伝えられていないということがありましたら、学級集会の機会や連絡帳等を活用いただきお知らせください。「教育は共育」とも言います。今後も子どもたちが楽しく学び、次学年に進級できるよう、学校も頑張っていきたいと思っております。ご理解の上、共に歩んでいただけるよう、お力添えをよろしくお願ひします。